

日交研シリーズ A-822

令和2年度自主研究プロジェクト

「地域別に見た生活様式に応じた物流サービスの提供とそのサービス水準のあり方に関する研究」

刊行：2021年12月

生活様式の変化が物流システムに与える影響に関する研究  
Study on the Effect of logistics system by the Change of Lifestyle

主査：岩尾 詠一郎（専修大学 商学部）

Eiichiro IWAO

要 旨

一般に、消費者は生活に必要な商品や物資を自宅近くの小売業の店舗等まで自ら移動し、購入後に、自ら自宅まで商品や物資を持ち帰る。ただし、すべての消費者が必要な商品や物資を店舗等で購入しておらず、消費者の生活様式によって購入場所が異なることがある。たとえば、大都市の若年者の単独世帯では、食料品や生活用品の自宅での保管は最小限におさえ、必要な時に必要な量を近隣の店舗等で購入する場合がある。一方、中山間地域の高齢者の単独世帯では、自宅近くまで巡回してくる移動販売等を利用する場合もある。このように、生活様式は、世帯構成や地域などによっても異なることが考えられ、それに応じて小売業者または物流事業者に求められる物流システムの内容も異なると考えられる。

そこで本研究では、消費者に関わる物流システムを対象に、近年の消費者の生活様式と物流システムの変化を示し、この物流システムの変化が物流システムに与える影響を解消するための対策を具体例をもとに示していく。

具体的には、下記の手順にそって研究を進めた。

1章『はじめに』では、本研究の背景と目的について述べた。

2章『生活様式の変化が物流システムに及ぼす影響の分析枠組み』では、「消費者に関わる物流システム」が、「消費者の生活様式」の変化にともなってどのように変化したかについて考察する分析枠組み、ならびに分析の構成要素である、物流システム、生活様式、影響要因について整理した。

3章『新型コロナウイルス感染拡大にともなう生活様式と物流システムの変化』では、新型コロナウイルス感染拡大に伴う生活様式と物流システムの変化を明らかにした。

4章『生活様式別の変化による物流システムへの影響とその対策』では、3章で示した生活様式の変化による物流システムに与える影響を解消するための対策の具体例を示した。

5章『おわりに』で、本研究のまとめと今後の課題を示した。

キーワード：物流システム、生活様式、消費者

Keywords：Logistics System、Life Style、Consumers